

優美なピアノで15周年祝う

調律師オーナーの
宿 泊 施 設 アンプロムテュ白馬

白馬村北城瑞穂のピアノニストの隠れ家「アンプロムテュ白馬」は17日と18日、オープン15周年記念ピアノコンサートを開催した。

ピアノニストの小井土愛美さんを迎え、3公演のサロンコンサートを実施、いずれも満席の聴衆を集めた。

同施設はヤマハのピアノ調律師として、欧州で長年活躍した山口郁夫さん(70)が「白馬の素晴らしい環境の中、音楽に没頭できる場所をつくろう」と、2010年春にオープンした。調律師のオーナーによるピアノ練習スタジオと、ホテルを一体化させた音楽宿泊

施設として、音楽家、音楽を学ぶ学生を中心に利用され、数々のサロンコンサートも開催されてきた。

ピアノニストの小井土さんは長野市出身、桐朋学園大学のピアノ専攻卒業、国内外で受賞多数。県内を拠点に音楽指導と精力的な演奏活動が続け、同施設での演奏会は、13周年コンサートに続き2回目となった。

プログラムはショパンの3曲、シューベルトの3曲を中心に、優美で華やかなピアノの音色を披露した。施設名の「アンプロムテュ」とは「即興曲」のことで、由来となっ



山口さんがソプラノサックスで加わったアンコールの演奏(17日の第1回公演)

たシューベルトの即興曲作品90の3を、小井土さん独自のアレンジで弾いて聴衆を魅了。途中、山口さんがソプラノサックスを携えて登場、アンコールは小六禮次郎のSAKURAを2人で演奏して会場を沸かせた。

演奏されたピアノは「ヤマハC3class SXA」2009年製。子(ピアノ)を選びました」と小井土さんは紹介、「演奏するピアノを選べるのは、アンプロムテュだけの貴重な経験。こは白馬の豊かな自然と大パノラマの中、ピアノに集中して向き合える大切な場所。ぜひ利用してほしいし、もっと私も広めていきたい」と話した。